

# 進路・キャリアだより（冬休み号）

令和5年12月25日

北海道札幌英藍高等学校

## ☆冬季休業開始～自己伸長のチャンス☆

今年度もいよいよ冬季休業が始まりました。一般選抜を控える3年次生は、年明け1月13日（土）14日（日）に実施される大学入学共通テストを皮切りに2月初旬に行われる一般選抜へのラストスパートとなる時期です。これまでもお伝えしてきましたが、模試のD・E判定から逆転合格する事例は少なくありません。「努力は必ず実を結ぶ」という言葉を信じて頑張りましょう。本校は、一生懸命に頑張る受験生を一生懸命に応援します。

さて、1・2年次生の皆さんは、年明けから次年度（以降）の準備をしっかりとすることで自己の学力伸長を図る大切な時期にさしかかります。（年明けから新年度までの期間とゼロ学期と呼びます）2年次生の進学対象者には、見学旅行明けに進路別ガイダンスをとおして、学校生活の過ごし方や進路実現に向けた準備の必要性をお伝えしてきましたが、冬季休業期間は、これまで学習した内容（授業・スタサポ・総合学力テスト・総合的な探究の時間等）をしっかりと振り返り、知識を定着させて理解を深める絶好の機会です。特に積み重ね教科と言われる英語・数学の基礎力は、3年次になってから強力な武器となるものです。3年次生を迎える前にいかに自己伸長を図るかが、進路実現への大きな鍵となります。「周りを見て安心しない」（勉強しない人を見て、自分だけではないと安心？）つまり、「外に目を向ける」（対外的に評価されるレベルを知る）ことが大切です。英藍生の皆さんには、自分でも気付いていない潜在的な力があるのです。その力は、目先の得手不得手・好き嫌いでは見つけにくいものであり、引き出すためにひたむきに取り組むことで実感できるものです。

進路実現は団体戦ですが、この冬季休業期間は、個を高める絶好のチャンスです。まだまだ、インフル・コロナ・風邪症状が流行っている時期なので、体調管理に気をつけて有意義な冬季休業を過ごしてください。

## ☆3年次生、一般選抜～ラストスパート！☆

秋から進路活動が本格的に始まりました。総合型選抜及び学校推薦型選抜の合否がほぼ発表となり、本校の年内入試の結果が出揃いました。12月15日（金）現在の進路決定率は、59.0%（151名/256名）となっています。一般選抜を間近に控えている受験生は、今必死に志望校合格を勝ち取るためにラストスパートの学習に取り組んでいます。合格を勝ち取る秘訣は、3カ年分の過去問から出題傾向を探り、ひたすら弱点克服と学びの振り返りを行うことです。同一の問題は出ることは考えられませんが、出題形式及び出題観点を体感することで手持ち教材の活かし方が身に付いてくるものです。また、共通テストでは全問を解答するには時間が不足してしまい、落ち着いていれば正答できる問題を焦りから失点してしまうことを心配する場合には、小問ごとに目標解答時間を設定して解答することをお勧めします。さらに、小問ごとの設定時間よりも30秒～1分短い時間で解答する訓練を行うことで本番の試験で5～10分の見直し時間を確保することも可能になります。是非、トライしてみてください。

また、共通テスト利用入試の出願では、自己採点直後に受験先を選定して出願しなければなりません。すでにイメージはついていると思いますが、共通テストで予定通り得点できた場合、やや得点が伸びなかった場合、大きく失点した場合を想定しておく必要があります。国公立大学の出願も同様です。これまでのガイダンス等でもお伝えしてきましたが、大切なことは基礎基本をはずさないことです。補足ですが、共通テスト利用入試の定員枠は大きくはありませんが、国公立大学や人気校の合否結果による玉突き現象（1人の受験生が複数校に合格した場合に難易度の高い学校や人気校への入学を選ぶこと）による水増し合格を見越して実際の定員よりも多く合格者を出していることも念頭に置いて判断をしてください。

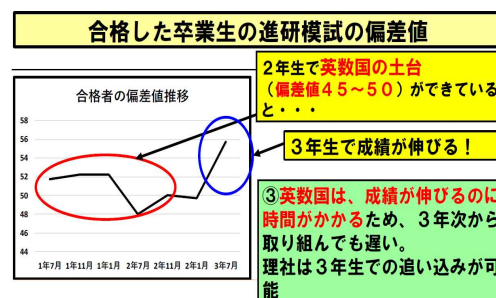
残す高校生活もあとわずかです。未来を切り開くために受験本番ギリギリまで学習の疑問点は学校で解決していきましょう。団体戦ですので、教師・生徒ともに「全力」「協力」「サポート」体制で乗りきりましょう。

## ☆総合学力テストの意義とゼロ学期の過ごし方☆

さて、1・2年次生の皆さんは一般選抜に向けた受験生の状況が伝わりましたか？年内入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）を含めて、受験のある上級学校（大学・短大・看護）への進学には常に一般選抜に対応する学力が求められます。「まだ時間がある」「やらなきゃいけないのはわかっているけど、やる気がしない」等のぼんやりとした気持ちでいる人が多いかもしれません。毎年受験期になってから必死に頑張る3年次生からは、「あの時から真剣に準備をしていれば…」という思いが常に伝わってきます。騙されたと思って構いませんので、今から英藍高校に入学してから学習した内容（場合によっては、中学時代の学習内容）をしっかりと振り返りつつ、1月20日（土）に実施される第3回総合学力テストに向けた準備をしてみましょう。冬期講習では、模試対策を行います。

模擬試験は、スタディサポートと異なり、学習の見返りをあまり実感できない設定（平均点の設定が35点/100点満点）となっています。模試解答のコツは、1ページ目から順番に解くことではありません。問題冊子を開き、全問の概略を掌握してから確実に得点できそうな問題から解答することです。第1問から順番に解くと最後には時間が不足してしまうことになってしまいがちです。是非やってみましょう。

模擬試験の意義は、全国の中での受験生本人の位置を知ることができること、学習の弱点を知ることによって克服することができること、模試データを蓄積（模試受験の継続データ）することで学習成果や学習方法の改善する機



会となること、2年次第2回総合学力テストから志望校判定を知ることができること、が挙げられます。

年明けからゼロ学期の始まりです。決して3月期だけを指しているわけではありません。ゼロ学期を有意義に過ごすか否かが3年次の受験準備に大きく影響します。例えば、休日も返上して一生懸命に部活に頑張る生徒は、多分春季大会・GW・高体連等の忙しい時を過ごし、7月には最後の学校祭を楽しみ夏季休業を迎えることとなります。逆算してください。期間はあっても、学習時間を確保できる日は案外少ないと思いませんか？大学入試では、これまでのガイダンス等でお伝えしたとおり、高校2年生終了までの学習内容をしっかり身に付けていれば、合格できるように設定されています。この年明けゼロ学期に「できることを可能な限りやる」の精神で有意義に過ごし、来たるべき時に備えましょう。

## ☆ 1・2年次の進路希望調査（結果） ☆

前期末時点の1・2年次の進路希望調査結果は、次のとおりです。

< 1年次 >

|           |             |
|-----------|-------------|
| (1) 国公立大学 | 36名 (12.9%) |
| (2) 私立大学  | 94名 (33.8%) |
| (3) 短大    | 5名 (1.8%)   |
| (4) 看護    | 8名 (2.9%)   |
| (5) 専門学校  | 51名 (18.3%) |
| (6) 公務員   | 5名 (1.8%)   |
| (7) 民間就職  | 4名 (1.4%)   |
| (8) 進学未定  | 59名 (21.2%) |
| (9) 完全未定  | 14名 (5.0%)  |
| (10) その他  | 2名 (0.7%)   |

< 2年次 >

|           |              |
|-----------|--------------|
| (1) 国公立大学 | 43名 (15.9%)  |
| (2) 私立大学  | 108名 (39.9%) |
| (3) 短大    | 5名 (1.8%)    |
| (4) 看護    | 6名 (2.2%)    |
| (5) 専門学校  | 56名 (20.7%)  |
| (6) 公務員   | 7名 (2.6%)    |
| (7) 民間就職  | 5名 (1.8%)    |
| (8) 進学未定  | 27名 (10.0%)  |
| (9) 完全未定  | 11名 (4.1%)   |
| (10) その他  | 3名 (1.1%)    |

よくある勘違い

入試問題は授業での教科書が中心となる

【入試問題の出題構成】

基礎問題=40~50%

応用問題=20~30%

難問=20~30%

※完全未定の方は焦る必要はありませんが、納得のいく進路実現のためにゼロ学期で就職（民間・公務員）や進学（学校・受験方式・受験科目等）について調べましょう。決まらないうちは、進学に対応する学習を心掛けることが大切です。

## ☆ 2年次終了までに進路の可能性（景色）を知ろう！ ☆

全国的な傾向と言われている4年制大学志向の傾向は昨年度から本校でも見受けられる状況となっています。何となく漠然と「勉強はしなければならないなあ」「やる気がしないなあ」「〇〇大学へ行きたいけど自信がないなあ」等と感じている1・2年次生の方が少なくないと思われます。次の事例があったことを知り、是非今後の進路調べや受験科目の設定について参考にしてください。

過去にある3年次生は、北海学園大学へ進学したいと思っていました。私大であるため、受験科目は、英語・国語・地歴公民の3教科で設定しました。3年次になり、大学入学共通テストの教科登録を私大と同じ教科で設定しました。英語を一生懸命に頑張り、少しずつ受験に対応する力を実感できるところまで達したため、小樽商科大学への推薦受験（1校枠4名、評定平均「4.0以上」）を視野に入れるようになりました。同大学の推薦選抜の合格目安は英数国1科目で75~80%以上の得点と言われている。共通テストを終えて英語の得点率は70%強という結果となり、推薦出願を断念しました。本人は12月頃には同大学の二次試験の英語も合格点をとれる力が付いてきている実感があったのですが、共通テストの科目登録時には国立大学への受験準備に間に合うとは考えてもいなかったようでした。共通テストの科目登録時に同大学受験に必要な教科登録をしていたら、実力を身に付けた得意の英語で二次試験を突破できた可能性は否定できません。

国公立大学は受験科目が多く、全科目に全力投球する必要性を感じている人が多いのではないのでしょうか？少なくとも国公立大学に興味関心のある学びがあるなら、共通テスト教科登録時（9月末~10月初旬）にその可能性を残して準備することが大切です。私大3科目をはずすことなくしっかり準備をしながら、隙間時間を駆使して対応している受験生はたくさんいるのです。是非、参考にしてください。

## ☆ こんなことが求められていました ☆

今年度の札幌圏で人気のある大学の総合型選抜では、しっかり課題図書を消化して自分の考えや意見をまとめる等の準備をしなければ対応することが難しいと思われることが課されていました。2つの事例を紹介します。

(1) SDGsの観点から新時代のビジネスについて高校生の観点で考える

(2) 近未来に必ず起こる7つの大変化について

上記のような総合型選抜（プレゼンテーション・小論文・口頭試問等）に限られた期間でしっかりと対応することが求められています。年内入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）が加速的に増加している傾向を踏まえると「総合的な探究の時間」での取組（調べ学習・講話等）の記録をしっかり残し、自分の言葉で生き活きと説明できるように準備をしていくことが大切です。

## ☆ 新課程入試に向けた模試対応（現2年次以降） ☆

新課程入試（現2年次生以降）の受験科目に「情報」が追加されたことにより、本校では、大学入学共通テスト対応の模擬試験を次のように実施することにしました。ご承知おきください。

(1) これまで、土曜日1日で実施していた大学入学共通テスト対応の模擬試験を前日金曜日放課後と翌土曜日の2日に分けて実施する。

(2) 金曜日の放課後に実施する科目は60~80分科目のうち1科目とし、16:50までに終了する。